



平成20年度選定  
質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）  
関西外国語大学短期大学部  
取組の概要と成果

『ファーストステージで  
学びの進化をカタチに』

# アウトライン



① 概要

② K.G.C.ベーシックス

③ ICT利用の英語授業外学習システムの開発と運用

④ 全学生留学制度

$$M + V + P = A$$



• **M** Mission 使命

• **V** Vision ビジョン・見通す力

• **P** Passion 情熱



• **A** Action 実行

## 建学の理念



- ・国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成
- ・公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応えていく実学

## 人材養成目的

英語を中心とした言語運用能力の向上を図るとともに、日本と世界のなかで交流するときに求められる人間力と教養を高め、実践的な職業人又は国内外の学士課程教育でより高度な専門性や教養を考究できる人材の育成

(学則第2章第2条)

## プロジェクトの目的

- ①短期大学の教育力の向上
- ②学力と基礎的人間力を備えた学生を社会に送り出す

# 中・長期ビジョン「関西外大ルネサンス2009」



外大ビジョン・6つの柱

キャンパスは“ちきゅう”

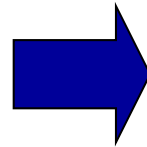
- 国際通用力を保障する言語教育の実践拠点
- 高度な専門職業人養成のアプローチ
- 国際人にふさわしい人間力の涵養と全人教育の推進
- 「キャンパスは“ちきゅう”」～まなびのフィールドを広げ、深める
- 地域はパートナー ～「グローカリズム」の実践
- 大学力の強化と充実 ～ 力強い未来のために

# 短期大学の今後の方向性



## 短大のすばらしい特徴

- ・高等教育のファースト・ステージ
- ・コミュニティ・カレッジ  
教養教育・生涯教育

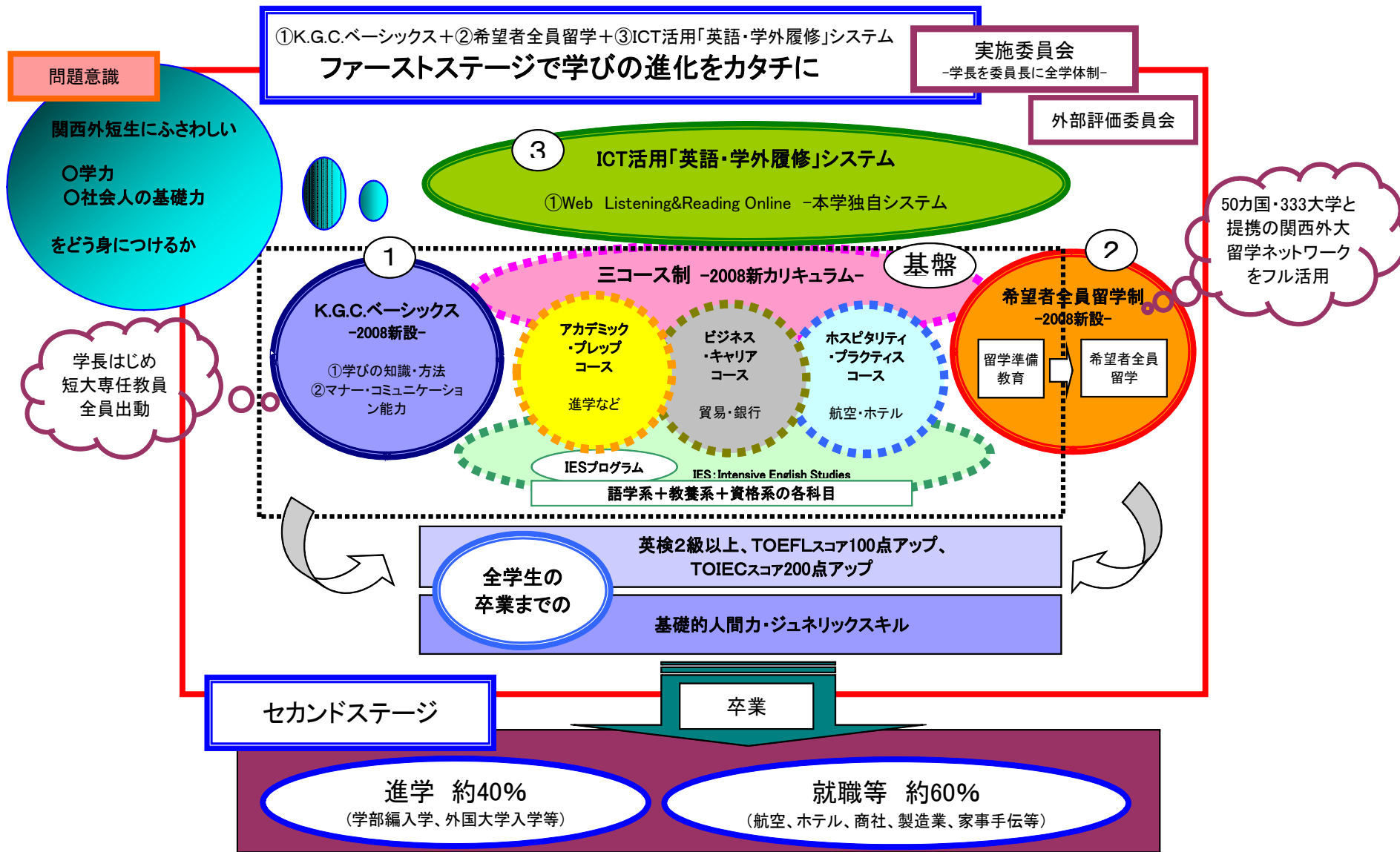


- ・ファースト・ステージとしての教育の充実
- ・社会人の受け入れ拡大

## 短大を取り巻く厳しい状況

- ・少子化の進行
- ・4年制志向の増加
- ・他大学との競争

# 全体構想図





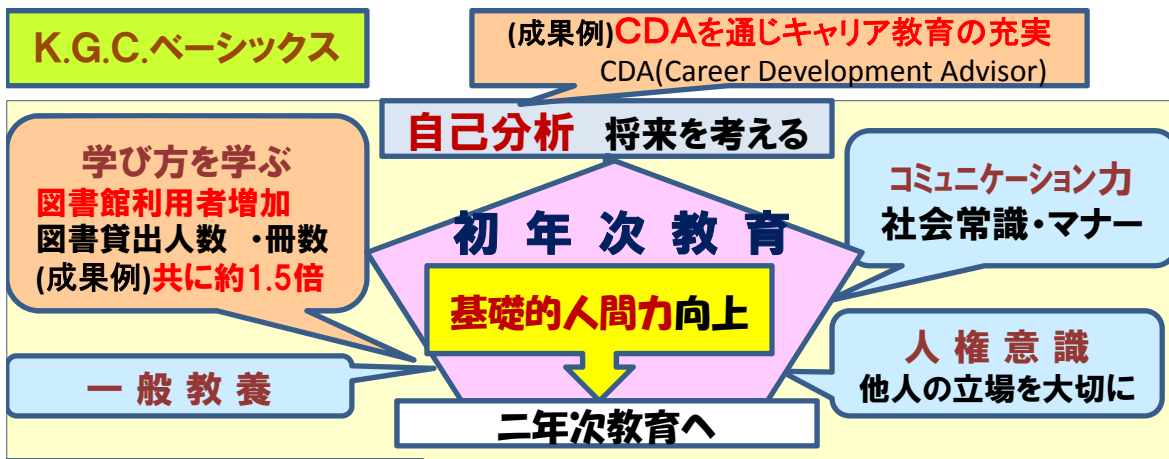
『ファーストステージで学びの進化をカタチに』

[取組のねらい]

短期大学の教育を**ファーストステージ**とし、学生が自身の**適性を把握**し、次のステップに繋ぐため、**ジェネリックスキル**を身につけ、**基礎的人間力**の向上を図る。

[取組の概要と成果] ...**取組の3本柱**

- 1. K.G.C.ベーシックス** 卒業後の多様な進路を視野に入れた**初年次教育**と位置付け、学習への動機づけを強化し、社会人として 基本的な素養と知識を備え、規律を守り自発的に行動できる取組。
- 2. ICT利用授業外英語学習システム** 単位の実質化を図るため、学生自身が授業外に自主学習を進めやすくするツールとして、ICTを利用した授業外学習システムの開発と運用。
- 3. 全学生留学制度** 学生の留学ニーズに応えると共に学生の**英語カレバールアップ**と**国際理解の深化**を目的として、本学の50か国・地域333単位互換提携大学のグローバル・ネットワークを基盤に実施。



**希望者全員留学制度**

★短大生は、2年間の在学期間という制約があり、短大生の多数は学部  
に編入学した後、長期留学をしている。こうした点を考慮し、5週間と  
10～15週間のプログラムを組み、短大生が留学しやすい環境を整備。  
★留学先での授業料を本学が負担して、極力、学生の経済的負担の軽減を図る。

取組後 (成果例) **65名から209名に増加**

**ICT利用授業外英語学習システム**

**モバイルアカデミー英文法**  
携帯電話に毎日配信...いつでも、どこでも無理なく  
学習⇒TOEIC形式の文法問題を解答し**文法力と語彙力アップ**をねらう

**Listening & Reading Online**  
・Cambridge, Oxfordなどの多読用ライブラリーのテキストと音声ファイルをWeb上にアップロード  
・自分の好きなジャンル、適したレベルを選択  
・音声、テキスト、音声とテキストの同時再生選択  
・教員はパソコンで学生の進捗状況を確認できる

(成果例) 教育GP・TOEICスコアの変化**GPグループ**  
 1年目 **372点⇒447点<75点> UP**  
 ☆上位者20名比較 **403点⇒499点<96点> UP**  
 2年目 **387点⇒514点<127点> UP**  
 3年目 **374点⇒466点<92点> UP** **8**



K.G.C.ベーシックス

新カリキュラムの目玉



## 初年次教育

社会人基礎教育

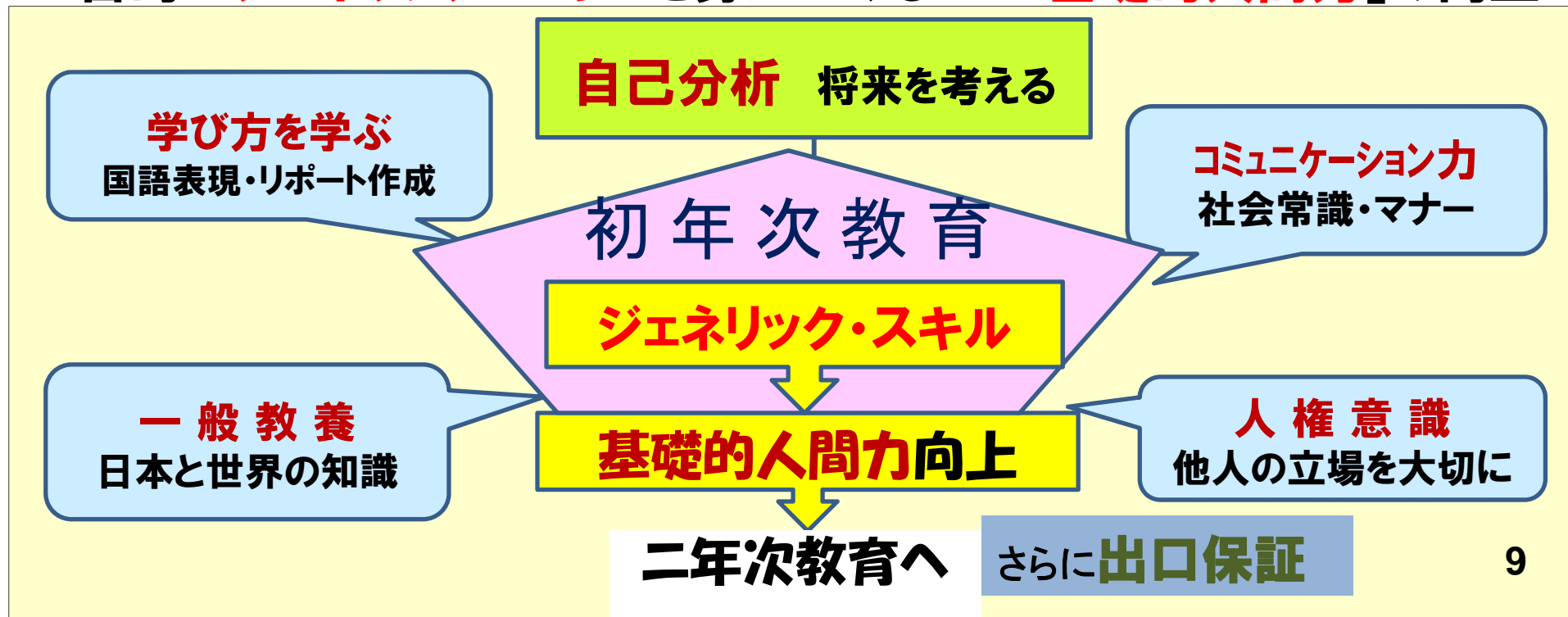
短大生活の充実  
卒業後の成長発展

<背景> 大学全入時代の到来 → 多様な学生が入学

<課題> ◆学力の向上

◆将来の社会人としての基本的な素養と知識の備え

<目的> **ジェネリック・スキル**を身につける ⇒ 「**基礎的人間力**」の向上



平成22年度「KGCベーシック  
A」授業計画 G1(A1~G1)

回	月・日	授業内容	備考
1	4・13	オリエンテーション・自己紹介・授業の受け方	全クラス合同
2	4・20	G1 今の自分を知り、学ぶ意味・目的を考える(グループワーク1)	クラス単位の授業(CDAとの協同授業)
3	4・27	G1 図書館の利用	クラス単位の授業
4	5・11	G1 自分の特性を知る～自分の強みを文章化する大切さを学ぶ～(グループワーク2)	クラス単位の授業(CDAとの協同授業)
5	5・18	G1 人間関係づくり(1)	クラス単位の授業
6	5・25	G1 人間関係づくり(2)	クラス単位の授業
7	6・1	G1 各クラスで実施(内容は先生方により異なる)	クラス単位の授業
8	6・8	G1 職業興味を知り、近づくための準備をする～大学で何を学ぶかを考える～(グループワーク3)	クラス単位の授業(CDAとの協同授業)
9	6・15	G1 レポートの書き方(1)	クラス単位の授業
10	6・22	G1 学生時代の目標を決め、行動計画を立てる(グループワーク4)	クラス単位の授業(CDAとの協同授業)
11	6・29	G1 レポートの書き方(2)	クラス単位の授業
12	7・6	2年生の就職活動報告と夏休みの過ごし方	合同授業(講堂):全クラス合同
13	7・13	礼儀とマナー	合同授業(講堂):全クラス合同
14	7・20	G1 春学期のまとめ	クラス単位の授業

平成22年度「KGCベーシックB」授業  
計画 G1(A1~G1)

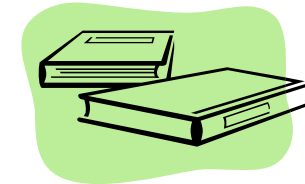


回	月・日	授業内容	備考
1	9・28	G1 2学期の目標について	クラス単位の授業
2	10・5	(予定)人権問題について	クラス単位の授業:全クラス(予定)
3	10・12	G1 行動計画の振り返り・PDCAサイクルの継続・改善(グループワーク5)	クラス単位の授業(CDAとの協同授業)
4	10・19	G1 異文化理解(1)	合同授業(講堂):A1~G2
5	10・26	G1 異文化理解(2)	クラス単位の授業
6	11・2	G1 キャリアデザインシートの作成～まとめ第一弾～(グループワーク6)	クラス単位の授業(CDAとの協同授業)
7	11・9	G1 プレゼンテーションの仕方(1)	クラス単位の授業
8	11・16	G1 プレゼンテーションの仕方(2)	クラス単位の授業
9	11・30	G1 チームプレゼンテーション(1)	クラス単位の授業
10	12・7	G1 チームプレゼンテーション(2)	クラス単位の授業
11	12・14	G1 キャリアの意味と内容を知る～まとめ第二弾～(グループワーク7)	クラス単位の授業(CDAとの協同授業)
12	12・21	G1 チームプレゼンテーション(3)	クラス単位の授業
13	1・11	G1 一般常識	クラス単位の授業
14	1・18	G1 秋学期まとめ	クラス単位の授業

## 「図書館利用法の指導及びその効果」(実践例1)

[目標] 知りたいことを調べ、生かす

⇒ きっかけづくり・良い印象



[指導内容・方法] 年々工夫改善

利用方法の理解度 **73%⇒82%⇒85%(向上)**

(平成19年)

(平成20年)

(平成21年)

① **貸出冊数** 9,440冊⇒12,935冊⇒14,347冊

② **一人当たり冊数** 4.12冊⇒ 5.23冊⇒ 5.49冊

\* ③ **貸出人数も増加** 9,001人⇒ 9,510人

※参考(学部)

① 貸出冊数 61,618冊⇒59,762冊⇒56,099冊

② 一人当たり冊数 8.12冊⇒ 7.91冊⇒ 7.41冊

## 人間力を培うための「一般教養」(実践例2)



### 短期大学部「文章表現法」の講義について

#### 目標

論理的な文(レポート・小論文)  
待遇表現(良い人間関係を築く力)

日本語の運用技術の習得だけではない  
将来の生きる力を培う

社会力・人間力・人権感覚を培う

他の講義と連携

# 「クラスの活力をどう育てるか」 (実践例3)

クラスの組織化・行動化の過程



勉学skillの向上

より良い受講姿勢  
(聴き方・ノートの取り方)

素敵な仲間作り

ゲーム  
リーダー作り

大学祭参加

○ふれあいを大切”にする教育姿勢

○学生生活をより豊かで楽しいものに(様々な企画)

# K.G.C.ベーシックスの授業光景

CDAの指導によるグループワーク(進路選択への意識とスキル)

\* CDA: carrier development adviser(キャリア教育の充実に寄与)



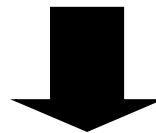
# ICT利用の英語授業外学習 システムの開発と運用

## モバイルアカデミー

- ・携帯電話による学習サービス
- ・レベルに合った学習コンテンツを配信。
- ・配信コンテンツ:  
英単語、TOEIC対策、漢字

## Listening & Reading Online

Oxford, Cengage, Pearsonなどの多読用ライブラリーのテキストと音声をWeb上にアップロード。好きなジャンル、適したレベルを選択し、学習する。



- ① Eラーニングメンバーとしてオンラインでの学習
- ② 各種プログラムに参加

## ■2010年度 Eラーニングメンバー プログラム セミナー及びアドバイザー業務



### セミナー

#### 【1年目】

- ・セミナー参加者  
[ヒロ前田]  
学習法(9/17・18) 113名  
直前対策(11/28) 38名  
[学習アドバイザー]  
夏期集中セミナー 53名



#### 【2年目】

- ・セミナー参加者  
[ヒロ前田]  
学習法(9/15・16) 157名  
直前対策(11/27) 40名  
[学習アドバイザー]  
夏期集中セミナー(2回) 26名  
短期セミナー(9回) 128名

セミナー参加人数推移  
204名⇒351名  
(1年目) (2年目)  
2年間で  
555名参加(延べ)

### 学習アドバイザー

#### 【1年目】 58日(1日6時間)

- ・学習アドバイザー業務  
相談人数(延べ) 129名  
個別指導回数 23回



#### 【2年目】 53日(1日6時間)

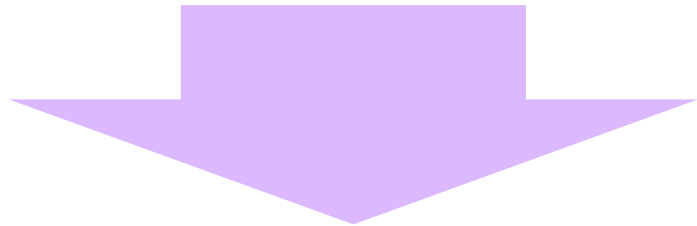
- ・学習アドバイザー業務  
相談人数(延べ) 85名  
個別指導回数 20回  
・短期セミナー実施(9回)  
128名

2年間で  
全体の50%が  
・アドバイザー  
・短期セミナー等の  
学習相談やイベントに  
参加



■2010年度 Eラーニングメンバー TOEIC(1年間) スコア 分析

初回スコア 平均 374点



条件 (対象 : 73名)

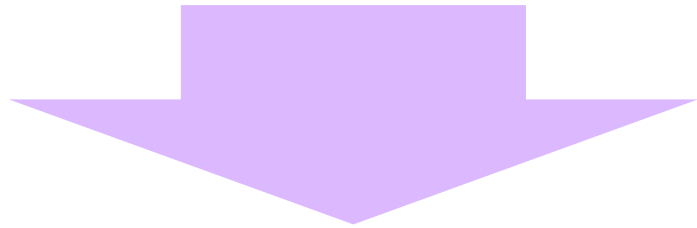
①2010年の5又は6月に受験

②比較対象は、2010年の2回目受験スコアの最高スコアを比較

ベストスコア 平均 466点  
(平均 92点UP)

■2009年度 Eラーニングメンバー TOEIC(2年間) スコア 分析

初回スコア 平均 387点



条件 (対象 : 35名)

①2009,2010年に隔年に受験

②09年度の初回と、10年度の最高スコア比較

ベストスコア 平均 514点

(平均 127点UP)

昨年の1年間は、75点up

## ■2009年度 Eラーニングメンバー プログラム TOEIC スコア伸び率(2年間) TOP10

順位	名前	学年	初回スコア	ベストスコア	差異
1	A	09年度生	300	605	305
2	B	09年度生	385	670	285
3	C	09年度生	350	585	235
4	D	09年度生	240	465	225
5	E	09年度生	360	505	220
6	F	09年度生	360	575	215
7	G	09年度生	370	565	195
8	H	09年度生	375	520	185
9	I	09年度生	395	575	180
10	J	09年度生	325	490	165

■2010年度 Eラーニングメンバー プログラム TOEIC スコア伸び率(1年間) TOP10

順位	名前	学年	初回スコア	ベストスコア	差異
1	A	10年度生	200	455	255
2	B	10年度生	385	630	245
2	C	10年度生	385	630	245
4	D	10年度生	455	660	205
5	E	10年度生	395	590	195
6	F	10年度生	360	545	185
7	G	10年度生	260	445	185
8	H	10年度生	300	480	180
9	I	10年度生	340	505	165
9	J	10年度生	380	545	165

## ■上位20名スコア分析(2009年度Eラニングメンバー)

### 上位20名スコア分析



平均スコア 174点UP

### 分析結果

- 携帯電話学習状況 : 330問(平均270問:1年間)
- セミナー参加平均: 3回(平均2回)
- 上位3名は、学習アドバイザーを3回以上利用し、個別指導や、学習アドバイスを有効に活用

## ■上位20名スコア分析(2010年度Eラニングメンバー)

### 上位20名スコア分析



平均スコア 171点UP

### 分析結果

■携帯電話学習状況 : 241問(平均164問:1年間)

①200⇒455(255点UP)

ヒロ前田のセミナー受講後、毎週行なわれるクラスに参加(携帯441問)

②385⇒630(245点UP)

学習アドバイザーと携帯電話学習をうまく活用(携帯609問)

③340⇒505

165点UP:セミナーに4回参加、学習アドバイス3回(携帯900問)